ESPRIMO
LIFEBOOK

B6FJ-7521-02 Z0

リカバリガイド

本書のバックアップについて

本書『リカバリガイド』は、ご購入時にＣドライブに格納されています。リカバリなどでＣドライブを削除した場合は、本書のデータも削除され、元に戻りません。事前に印刷またはバックアップしておくことをお勧めします。
このマニュアルは、改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル（http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/）をご覧ください。

目次

本書をお読みになる前に

本書の表記

本書は2011年11月現在の内容です。本書をお読みになり、ご不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】＋【F3】キー、【Shift】＋【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：　「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をクリックし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■ 本書に記載している仕様とお使いの機種との相違

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。

ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。

あらかじめご了承ください。

なお、本文内において、機種やOS別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■ ユーザーアカウント制御ウィンドウ

本書で説明しているWindowsの操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前にWindowsが表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

■ 光学ドライブ

本書では、DVD-R（4.7GB）に書き込みができる光学ドライブを搭載していることを前提に記述しています。お使いの機種やモデルによって、書き込みができる光学ドライブがない場合、別売の外付け光学ドライブを接続してください。外付け使用できる光学ドライブについては、富士通製品情報ページ内にある「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧ください。

- 本パソコンには、データをDVDに保存するためのソフトウェア「Roxio Creator」がインストールされています。外付け光学ドライブに添付の「Roxio Creator」をインストールする必要はありません。

■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="4">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>ESPRIMO K552/D</td><td colspan="2" rowspan="2">ESPRIMO K シリーズ</td><td rowspan="5">ESPRIMO</td><td rowspan="12">本パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>ESPRIMO K532/D</td></tr>
<tr><td>ESPRIMO D751/D</td><td>ESPRIMO D751 シリーズ</td><td rowspan="3">ESPRIMO D シリーズ</td></tr>
<tr><td>ESPRIMO D581/D、D581/DW</td><td>ESPRIMO D581 シリーズ</td></tr>
<tr><td>ESPRIMO D551/D、D551/DX、D551/DW</td><td>ESPRIMO D551 シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK E741/D</td><td colspan="2">LIFEBOOK E シリーズ</td><td rowspan="7">LIFEBOOK</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK A561/D、A561/DX、A561/DW</td><td colspan="2">LIFEBOOK A561 シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK A531/D、A531/DX</td><td colspan="2">LIFEBOOK A531 シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK S761/D</td><td colspan="2">LIFEBOOK S シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK P771/D</td><td colspan="2">LIFEBOOK P シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK T901/D</td><td colspan="2" rowspan="2">LIFEBOOK T シリーズ</td></tr>
<tr><td>LIFEBOOK T731/D</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Professional 64 ビット版</td><td>Windows 7（64 ビット版）</td><td rowspan="3">Windows 7</td><td colspan="2" rowspan="3">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Professional 32 ビット版</td><td rowspan="2">Windows 7（32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Home Premium 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Professional 2010</td><td colspan="4" rowspan="3">Office</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Home and Business 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Personal 2010</td></tr>
<tr><td>Corel® WinDVD®</td><td colspan="2">Corel WinDVD</td><td colspan="2">WinDVD</td></tr>
<tr><td>Roxio Creator LJ</td><td colspan="4">Roxio Creator</td></tr>
</table>

■ 商標および著作権について

1.必要に応じてお読みください

1.1 ハードディスク構成

ハードディスクは、システムやリカバリデータなどが格納されている領域や、OS、ソフトウェアやデータなどを格納するＣドライブとＤドライブで構成されています。

1.1.1　Windows 7のハードディスク構成

Windows RE
＋リカバリ領域
システム
領域
Cドライブ
Dドライブ
約12GB
リカバリ
データなど
約0.2GB
・OS
・ソフトウェア
・ドライバー
など
空き領域
空き領域

POINT

- 「Windows RE＋リカバリ領域」に約12GB、「システム領域」に約0.2GB使用しているため、「コンピューター」に表示されるハードディスクの容量は、「本体仕様」の記載よりも約12.2GB少なく表示されます。
- 「Windows RE＋リカバリ領域」と「システム領域」は、Windowsからは見えない領域です。

「Windows RE＋リカバリ領域」には、次のデータが格納されています。

- 診断プログラム
  Windowsが正常に起動できない場合に本パソコンを診断します。
  「診断プログラム」については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。
- トラブル解決ナビ
  リカバリの実行やハードウェアなどの診断をするソフトウェアです。リカバリについては、「1.3 リカバリ」（→P.11）をご覧ください。
- 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」のイメージ
  本パソコンにトラブルが起こったときに使用する起動ディスクや、ソフトウェアのインストール、再インストールするときに使用するディスクのイメージです。
- Windows 7のリカバリデータ
  本パソコンにトラブルが起こったときにＣドライブをリカバリするときに使用します。
  Office搭載モデルの場合、Officeのイメージも格納されています。
- 「Corel WinDVD」のイメージ（光学ドライブ搭載機種）
  DVDを再生するソフトウェアのインストールディスクのイメージです。

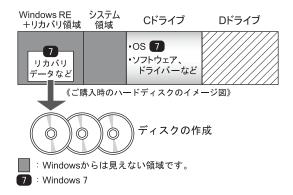
1.2 ディスク作成

「Windows RE＋リカバリ領域」にトラブルがあった場合、リカバリができなくなります。その場合に備えて、格納されているデータをDVD-Rにコピーしておくと安心です。

重要

- 本パソコンをご購入後、お手元にディスクがない場合は、できるだけ早くディスクを作成してください。

1.2.1 ディスク作成の考え方

本パソコンにトラブルがあった場合に備えて、またはご購入時にインストールされていないソフトウェアを使用する場合に、次のディスクが必要になります。
「Windows RE＋リカバリ領域」に格納されているデータから、ディスクを作成します。

- リカバリデータディスク
  ハードディスクをご購入時の状態に戻す場合に使用します。また、「リカバリデータディスク」のリカバリデータを使って、Cドライブをリカバリすることもできます。
  Office搭載モデルの場合、Officeのイメージも格納されています。
- トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］
  ソフトウェアやドライバーをインストールする場合、またはハードディスクをご購入時の状態に戻す場合に使用します。
  領域設定を変更したり、リカバリ領域を削除したりする場合にも使用します。

重要

- ご購入時に添付されているすべてのソフトウェアやドライバーは、富士通製品情報ページ内にある「ダウンロード」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）に公開されていません。
  添付のソフトウェアやドライバーをインストールしたい場合は、「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」を作成してください。

- 「Corel WinDVD」ディスク（光学ドライブ搭載機種）
  再生ソフト「Corel WinDVD」が格納されています。DVDを再生するときに必要なソフトウェアです。

1.2.2　ディスク作成前の準備

ディスクを作成する前に、次の準備を行ってください。

■ 型名を確認する

作成したディスクのレーベル面に記入します。あらかじめ、保証書などで本パソコンの型名を確認してください。

■ ACアダプタを接続する（LIFEBOOKの場合）

ディスクを作成するときには、必ずACアダプタを接続してください。

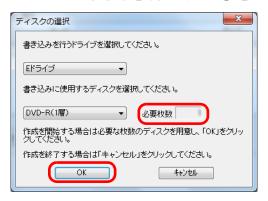
■ ディスクを用意する

- お使いになれるディスク
  DVD-R（4.7GB）が必要です。その他のディスクはお使いになれません。
- 推奨ディスク
  インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。
- 必要なディスクの枚数
  必要なディスクの枚数は、「ディスクを作成する」の手順3（→P.9）で確認できます。

1.2.3　ディスクを作成する

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ディスク作成」の順にクリックします。

2 作成したいディスクをクリックし、「作成」をクリックします。

3　ディスクの必要枚数を確認し、「OK」をクリックします。

「作成を開始しますか？」というメッセージが表示されます。

4　画面の指示に従って、未使用のディスクのレーベル面にディスクの名前と機種名（型名）を記入します。

POINT

- レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆など、先の硬いものを使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

5　手順4で名前を記入したディスクをセットします。

POINT

- 「自動再生」ウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

6　「はい」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

POINT

- 「未使用のディスクをセットしてから「OK」をクリックしてください。」と表示された場合、未使用のディスクがセットされていることを確認し「OK」をクリックしてください。

7　「ディスクへの書き込みが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

●複数枚のディスクを作成する場合

1枚目の書き込みが完了したら、続けて次のディスクを作成します。手順4～手順6を繰り返し、枚数分を作成してください。

POINT

- 書き込みエラーが表示された場合
「ディスクの作成に失敗しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。「ディスク作成」ウィンドウに戻ります。
ディスクの不良が考えられますので、新しいディスクを用意し、手順2から操作し直してください。なお、複数枚のディスクを作成している途中でエラーが出た場合は、途中から作成できます。
手順6で、作成し直したいディスクの枚数「n枚目」が表示されるまで「いいえ」をクリックして、ディスクの作成を続けてください。

8 「選択したディスクの作成が終了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出し、「OK」をクリックします。

続けて他のディスクを作成する場合は、手順2に戻り、作成したいディスクの選択から行ってください。

9 「終了」をクリックします。

以上でディスクの作成は終了です。作成したディスクは、大切に保管してください。

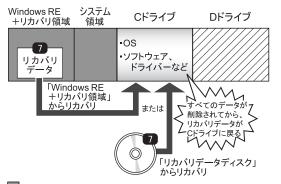
1.3 リカバリ

本パソコンのCドライブを、リカバリする方法を説明します。
リカバリは、Windowsが起動しないなどの問題が発生した場合に行います。

重要

- ハードディスクを保守交換した場合は、「2.2 ハードディスクをご購入時の状態に戻す」（→P.27）をご覧になり、Cドライブのみではなく、ハードディスクのすべてのデータをご購入時の状態に戻してください。
なお、OSやドライバーなどがインストールされた状態のハードディスクに交換した場合は、リカバリを行ったりハードディスクをご購入時の状態に戻したりする必要はありません。

1.3.1 リカバリの考え方

リカバリとは、CドライブのOS、ドライバーなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、「リカバリ領域」または「リカバリデータディスク」のリカバリデータを使って、Cドライブのみご購入時の状態に戻します。Cドライブ以外のデータは変更されません。

1.3.2　注意事項

- トラブル解決ナビの「領域設定」以外でドライブ構成を変更している場合は、リカバリを実行できません。
  また、ダイナミックディスクや拡張パーティションなどを作成した場合もリカバリを実行できません。
  その場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「2.2 ハードディスクをご購入時の状態に戻す」（→P.27）をご覧ください。
- リカバリを行うと、C ドライブのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、リカバリ前に復元用のバックアップをしてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESS ファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。
- パソコン本体にUSB メモリ、外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、必ず取り外してください。
- リカバリでは元に戻らないソフトウェアがあります。リカバリが終了してからインストールしてください。
- キーボードまたはマウス（フラットポイント）で操作してください。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

1.3.3　リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備を行ってください。

■ ACアダプタを接続する（LIFEBOOKの場合）

リカバリを実行するときには、必ずACアダプタを接続してください。

■ BIOS設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ 必要に応じてディスクを用意する

- リカバリデータディスク
  リカバリデータディスクからリカバリを行う場合に必要です。
  お手元に、Windows 7（64 ビット版）およびWindows 7（32 ビット版）のリカバリデータディスクがある場合は、リカバリを行いたい、いずれかのディスクを用意してください。

1.3.4　リカバリを実行する

重要

- Cドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

1 お使いの機種により、次の操作を行います。

●ESPRIMO Dシリーズの場合

1. 本パソコンの電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

3. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

●ESPRIMO Kシリーズ、LIFEBOOK （A531シリーズを除く）の場合

1. 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら【F12】キーを離します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。手のひら静脈や指紋を登録した場合は、それぞれ認証を行ってください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

3. 【Tab】キーを押します。
   アプリケーションメニューが表示されます。
4. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

●LIFEBOOK A531 シリーズの場合

1.【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2.「FUJITSU」のロゴが表示されたら【F12】キーを離します。
   Boot Menu が表示されます。

POINT

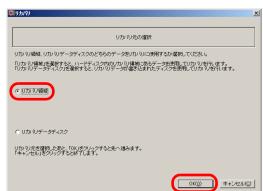
- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- Boot Menu が表示されず Windows が起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

3.【Tab】キーを押します。
4. Application Menu が表示されます。カーソルキーで「Recovery and Utility」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

2 「リカバリ」タブの「C ドライブのみご購入時の状態に戻す」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

3 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「リカバリ元の選択」画面が表示されます。

4　「リカバリ領域」をクリックし、「OK」をクリックします。

POINT

- リカバリデータディスクを使用する場合
  お手元にWindows 7（64ビット版）およびWindows 7（32ビット版）のリカバリデータディスクがある場合は、リカバリを行いたい、いずれかのディスクを使用します。
- 「リカバリデータディスク」をクリックし、「OK」をクリックします。その後は、表示されるメッセージに従って操作してください。

「警告」画面が表示されます。

5　「OK」をクリックします。

「リカバリ」画面が表示され、リカバリが始まります。
リカバリが終了すると、「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されます。

POINT

- リカバリデータディスクを使用した場合は、ディスクを取り出してください。

6　「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。
外付け光学ドライブを接続している場合は、取り外してください。

7　30秒以上待ってから電源を入れます。

8　セットアップを行います。

詳しくは、「1.4 セットアップ」（→P.16）をご覧ください。

以上でリカバリは終了です。

1.4 セットアップ

1.4.1 注意事項（ESPRIMOの場合）

- セットアップが完了（「必ず実行してください」を実行）するまでは、次のものを接続または変更しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
  ・周辺機器
  ・LANケーブル
  ・拡張カード
  ・2台目のディスプレイ
  ・BIOSの設定
- タッチパネル搭載機種の場合、タッチパネルでセットアップの操作はできません。キーボードまたはマウスで操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windowsセットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーボードまたはマウスで操作してください。
- Windowsセットアップが進められなくなった場合は、電源ボタンを4秒以上押して、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「1.3 リカバリ」（→P.11）をご覧ください。
- Windowsセットアップの途中で、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、お使いのディスプレイに合わせたドライバーをインストールしてください。
- マルチディスプレイ機能を使用する場合は、セットアップを行い、ディスプレイドライバーをインストールした後に、2台目のディスプレイを接続してください。
  マルチディスプレイ機能については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ 次の手順に従ってセットアップする

□ ESPRIMO D751、D581シリーズの場合

「1.4.3 セットアップする（ESPRIMO D751、D581シリーズの場合）」（→P.17）に進んでください。

□ ESPRIMO Kシリーズ、D551シリーズの場合

「1.4.4 セットアップする（ESPRIMO Kシリーズ、D551シリーズ、LIFEBOOKの場合）」（→P.20）に進んでください。

1.4.2 注意事項（LIFEBOOKの場合）

- セットアップする前に、必ずACアダプタを接続してください。
- セットアップが完了（「必ず実行してください」を実行）するまでは、次のものを接続しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
  - ・周辺機器
  - ・LANケーブル
- セットアップは、キーボードまたはフラットポイント（マウス）で操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windowsセットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーボードまたはフラットポイント（マウス）で操作してください。
- Windowsセットアップが進められなくなった場合は、電源ボタンを4秒以上押して、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「1.3 リカバリ」（→P.11）をご覧ください。

■ 次の手順に従ってセットアップする

「1.4.4 セットアップする（ESPRIMO Kシリーズ、D551シリーズ、LIFEBOOKの場合）」（→P.20）に進んでください。

1.4.3 セットアップする（ESPRIMO D751、D581シリーズの場合）

1 **本パソコンの電源を入れます。**

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断（POST）が始まります。
画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

自己診断（POST）が終わると「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

2 **メッセージに従って操作します。**

途中に、ユーザー名、パスワード、およびコンピューター名を入力する画面が表示されます。

入力可能な文字と文字数は、次のとおりです。

・ユーザー名：12文字以内の半角英数字（a～z、A～Z、0～9）。数字は、英字と組み合わせて使用します。

・パスワード：半角英数字（a～z、A～Z、0～9）。大文字、小文字は区別されます。

・コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

●ハードディスクをご購入時の状態に戻した後のセットアップの場合

「ハードディスク領域変更ツール」画面が表示されます。

領域設定を変更する場合は、変更する方法を選択し、設定してください。

領域設定を変更しない場合は、「変更しない」をクリックします。

Windowsセットアップが完了すると、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されます。

3 **「必ず実行してください」ウィンドウの内容を確認し、「実行する」をクリックします。**

4 **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。**

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

5 **「OK」をクリックします。**

本パソコンが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

6 **設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。**

Windowsが起動します。

7 **「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットします。**

「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」がお手元にない場合は、「1.2　ディスク作成」（→P.7）をご覧になり、作成してください。
- 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「メディアからのプログラムのインストール/実行」の「DRVCDSRC.exeの実行」を選択してください。

8 **お使いの機種とOSを選択し、「種別」に「ディスプレイ」を選択します。**

9 お使いのドライバーを選択します。

●グラフィックスカードを選択した場合

「AMD ディスプレイドライバー」をクリックします。

●グラフィックスカードを選択しなかった場合

・Windows 7（64 ビット版）の場合：
「インテル(R) ディスプレイドライバー 64 ビット版」をクリックします。

・Windows 7（32 ビット版）：
「インテル(R) ディスプレイドライバー」をクリックします。

10 フォルダー内のテキストファイルに従って、ドライバーをインストールします。

ドライバーのインストール完了後、本パソコンが再起動します。

POINT

- ドライバーのインストール前に「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windowsが起動します。

12 ディスクを取り出します。

この後、さらにドライバーをインストールする必要があります。インストールが必要なドライバーを次の表で確認し、手順13に進んでください。

D751シリーズ	D581シリーズ
・ディスプレイの電源を切る	・Realtek PCIe GBE/FE Family Controller LAN ドライバー ・ディスプレイの電源を切る ・お手入れナビ（24時間モデルのみ）

13 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットします。

「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「メディアからのプログラムのインストール/実行」の「DRVCDSRC.exeの実行」を選択してください。

14 「機種名」とお使いのOSを選択後、「種別」を選択します。

「種別」は、それぞれ次のように選択します。

・Realtek PCIe GBE/FE Family Controller LAN ドライバー：通信
・ディスプレイの電源を切る：ユーティリティ
・お手入れナビ：ユーティリティ

15 インストールするドライバーをクリックします。

16 フォルダー内のテキストファイルに従ってドライバーをインストールします。
ドライバーのインストールの完了後、本パソコンが再起動します。

17 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windowsが起動します。
複数のドライバーをインストールする場合は、手順12～手順17を繰り返しインストールしてください。

18 ディスクを取り出します。

これで、セットアップが完了しました。Office搭載モデルの場合は、「1.4.5 Officeのインストール状態（Office搭載モデルの場合）」（→P.22）をお読みください。
この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

1.4.4　セットアップする（ESPRIMO Kシリーズ、D551シリーズ、LIFEBOOKの場合）

1 本パソコンの電源を入れます。
画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断（POST）が始まります。
画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

自己診断（POST）が終わると「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

2 メッセージに従って操作します。
途中に、ユーザー名、パスワード、およびコンピューター名を入力する画面が表示されます。
入力可能な文字と文字数は、次のとおりです。
・ユーザー名：12文字以内の半角英数字（a～z、A～Z、0～9）。数字は、英字と組み合わせて使用します。
・パスワード：半角英数字（a～z、A～Z、0～9）。大文字、小文字は区別されます。
・コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

●ハードディスクをご購入時の状態に戻した後のセットアップの場合
「ハードディスク領域変更ツール」画面が表示されます。
領域設定を変更する場合は、変更する方法を選択し、設定してください。
領域設定を変更しない場合は、「変更しない」をクリックします。

Windowsセットアップが完了すると、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されます。

3 「必ず実行してください」ウィンドウの内容を確認し、「実行する」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。
再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウス（フラットポイント）を操作しないでください。

5 「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

6 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windowsが起動します。

●ESPRIMO Kシリーズ、D551シリーズ、LIFEBOOK（A531シリーズを除く）の場合
これで、セットアップが完了しました。Office搭載モデルの場合は、「1.4.5 Officeのインストール状態（Office搭載モデルの場合）」（→P.22）をお読みください。
この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

●LIFEBOOK A531シリーズの場合
この後、次のドライバーをインストールする必要があります。
・「Realtek PCIe GBE/FE Family Controller LAN ドライバー」
・「ディスプレイの電源を切る」
次の手順に進んでください。

7 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットします。
「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「メディアからのプログラムのインストール/実行」の「DRVCDSRC.exeの実行」を選択してください。

8 「機種名」とお使いのOSを選択後、「種別」を選択します。
「種別」は、それぞれ次のように選択します。
・Realtek PCIe GBE/FE Family Controller LAN ドライバー：通信
・ディスプレイの電源を切る：ユーティリティ

9 インストールするドライバーをクリックします。

10 フォルダー内のテキストファイルに従ってドライバーをインストールします。
ドライバーのインストールの完了後、本パソコンが再起動します。

11 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windowsが起動します。

12 ディスクを取り出します。
手順7～手順12を繰り返し、次のドライバーをインストールします。

これで、セットアップが完了しました。Office搭載モデルの場合は、「1.4.5 Officeのインストール状態（Office搭載モデルの場合）」（→P.22）をお読みください。
この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

1.4.5 Officeのインストール状態（Office搭載モデルの場合）

リカバリの方法やリカバリに使用したリカバリデータディスクによって、セットアップ後、Office製品のインストールの状態が異なります。

■ リカバリまたはハードディスクをご購入時の状態に戻した後のインストール状態

○：インストール済　×：インストール未

	Officeのインストールの状態
リカバリ領域からリカバリした場合	○
「1.2 ディスク作成」（→P.7）で作成したディスク	○
ご購入時に添付のディスク（注）	×

注：モデルやカスタムメイドの選択によって添付されます。

ご購入時に添付のディスクを使用してリカバリを行った場合は、Office製品をインストールする必要があります。
添付のOfficeパッケージのディスクから、Office製品をインストールしてください。

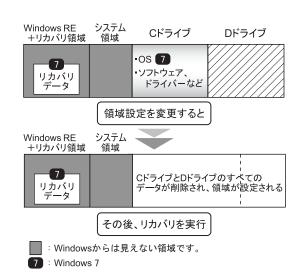
2. 補足情報

2.1 領域設定の変更

ハードディスクのＣドライブとＤドライブの領域を変更したり、1区画にしたりすることができます。

2.1.1 注意事項

- 領域設定の変更を行うと、C ドライブと D ドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。
  「Windows RE＋リカバリ領域」、「システム領域」のデータは削除されません。
- トラブル解決ナビの「領域設定」以外でドライブ構成を変更している場合は、領域設定を変更できません。
  また、ダイナミックディスクや拡張パーティションなどを作成した場合も領域設定を変更できません。
  その場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「2.2 ハードディスクをご購入時の状態に戻す」（→P.27）をご覧ください。
- トラブル解決ナビの「領域設定」以外で、ドライブ構成を変更する場合、「Windows RE 領域」は削除しないでください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、必ず取り外してください。
- キーボードまたはマウス（フラットポイント）で操作してください。

2.1.2 領域設定の考え方

2.1.3　領域設定を変更する前の準備

領域設定を変更する前に、次の準備を行ってください。

■ ACアダプタを接続する（LIFEBOOKの場合）

領域設定を変更するときには、必ずACアダプタを接続してください。

■ BIOS設定を購入時の状態に戻す

BIOSの設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

2.1.4　領域設定を変更する

1 お使いの機種により、次の操作を行います。

●ESPRIMO Dシリーズの場合

1. 本パソコンの電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

3. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

●ESPRIMO Kシリーズ、LIFEBOOK （A531シリーズを除く）の場合

1. 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら【F12】キーを離します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。手のひら静脈や指紋を登録した場合は、それぞれ認証を行ってください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

3. 【Tab】キーを押します。
   アプリケーションメニューが表示されます。
4. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

●LIFEBOOK A531 シリーズの場合

1.【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2.「FUJITSU」のロゴが表示されたら【F12】キーを離します。
   Boot Menuが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- Boot Menuが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

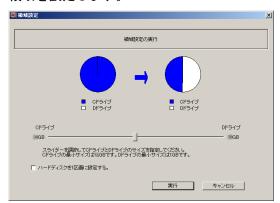
3.【Tab】キーを押します。
   Application Menuが表示されます。
4. カーソルキーで「Recovery and Utility」を選択し、【Enter】キーを押します。
   そのまましばらくお待ちください。「Recovery and Utility」が表示されます。

2 「ユーティリティ」タブの「領域設定」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

3 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「領域設定の実行」画面が表示されます。

4 領域を設定します。

●ＣドライブとＤドライブ（2区画）を作成する場合

スライダーを左右にドラッグしてCドライブとDドライブの容量を指定します。容量は1GB単位で設定できます。

●Ｃドライブのみ（1区画）を作成する場合

「ハードディスクを1区画に設定する。」にチェックを付けます。

5 「実行」をクリックします。

確認画面が表示されます。

重要

- 領域設定を変更していなくても、「実行」をクリックするとＣドライブとＤドライブのすべてのデータが削除されます。

6 「はい」をクリックします。

領域の設定が始まります。

領域の設定が完了すると、「領域設定の完了」画面が表示されます。

7 「完了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

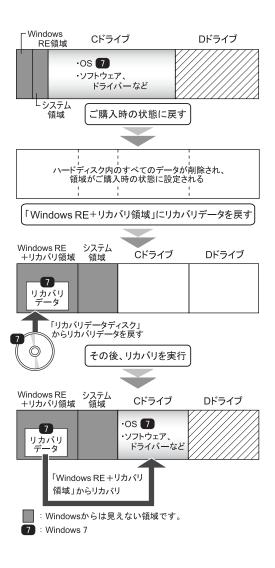
以上で領域設定の変更は終了です。この後リカバリを行う場合は、「1.3 リカバリ」（→P.11）をご覧ください。

2.2 ハードディスクをご購入時の状態に戻す

リカバリ領域を消してしまった場合などに、ディスクを使ってハードディスクをご購入時の状態に戻すことができます。

2.2.1 注意事項

- ハードディスクをご購入時の状態に戻すと、ハードディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、ハードディスクをご購入時の状態に戻す前に復元用のバックアップをしてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。
  これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESS ファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。
- パソコン本体に USB メモリ、外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、必ず取り外してください。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すを実行しても、元に戻らないソフトウェアがあります。ハードディスクをご購入時の状態に戻した後、インストールしてください。
- キーボードまたはマウス（フラットポイント）で操作してください。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

2.2.2 ハードディスクをご購入時の状態に戻すの考え方

2.2.3　ハードディスクをご購入時の状態に戻す前の準備

ハードディスクをご購入時の状態に戻す前に、次の準備を行ってください。

■ ACアダプタを接続する（LIFEBOOKの場合）

ハードディスクをご購入時の状態に戻すときには、必ずACアダプタを接続してください。

■ BIOS設定をご購入時の状態に戻す

BIOSの設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ ディスクを用意する

- トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］
- リカバリデータディスク
  お手元に、Windows 7（64ビット版）およびWindows 7（32ビット版）のリカバリデータディスクがある場合は、リカバリを行いたい、いずれかのディスクを用意してください。
- 「Corel WinDVD」ディスク（光学ドライブ搭載機種）

2.2.4　ハードディスクをご購入時の状態に戻す

重要

- ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

1　お使いの機種により、次の操作を行います。

●ESPRIMO Dシリーズの場合

1. 本パソコンの電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

●ESPRIMO Kシリーズ、LIFEBOOK（A531シリーズを除く）の場合

1.【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら【F12】キーを離します。

　起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。手のひら静脈や指紋を登録した場合は、それぞれ認証を行ってください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

●LIFEBOOK A531シリーズの場合

1.【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2.「FUJITSU」のロゴが表示されたら【F12】キーを離します。

　Boot Menuが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- Boot Menuが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

2　「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットします。

3　データの読み出しが終了し光学ドライブが停止してから、カーソルキーでディスクをセットした光学ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

4　「リカバリ」タブの「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. ディスクの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリ領域にリカバリデータを復元する
4. リカバリを実行する

の順に進めます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして、操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら手順7に進んでください。

7 ディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

外付け光学ドライブを接続している場合は、取り外してください。

8 30秒以上待ってから電源を入れます。

9 セットアップを行います。

詳しくは、「1.4セットアップ」（→P.16）をご覧ください。

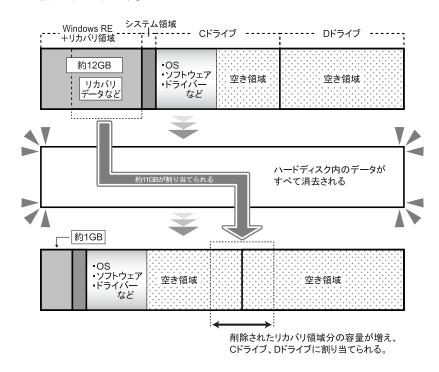
以上でハードディスクをご購入時に戻す操作は終了です。

2.3 リカバリ領域の削除

2.3.1 注意事項

- リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域のほかに、領域設定を変更し直すためCドライブとDドライブのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域に格納されているデータが消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、必ずリカバリ領域にあるデータから次のディスクを作成してください。
  ・トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］
  ・リカバリデータディスク（Windows 7）
  ・「Corel WinDVD」ディスク（光学ドライブ搭載機種）
  ディスクの作成方法については、「1.2ディスク作成」（→P.7）をご覧ください。
- セキュリティチップ搭載機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、リカバリ領域を削除する前に復元用のバックアップをしてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。
  これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  詳しくは、インターネット上のマニュアル『SMARTACCESSファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。
- パソコン本体にUSBメモリ、外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、必ず取り外してください。
- リカバリ領域を削除しリカバリを実行しても、元に戻らないソフトウェアがあります。リカバリを実行した後、インストールしてください。
- キーボードまたはマウス（フラットポイント）で操作してください。
- リカバリ領域を削除するには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

2.3.2　リカバリ領域の削除の考え方

リカバリ領域を削除することで、Cドライブ、Dドライブの容量を増やすことができます。
「Windows RE＋リカバリ領域」内にあるリカバリ領域部分（約11GB）が、Cドライブ、Dドライブに割り当てられます。

2.3.3　リカバリ領域を削除する前の準備

リカバリ領域を削除する前に、次の準備を行ってください。

■ ACアダプタを接続する（LIFEBOOKの場合）

リカバリ領域を削除するときには、必ずACアダプタを接続してください。

■ BIOS設定をご購入時の状態に戻す

BIOSの設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■ ディスクを用意する

- トラブル解決ナビ& ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］
- リカバリデータディスク（Windows 7）
  お手元に、Windows 7（64 ビット版）およびWindows 7（32 ビット版）のリカバリデータディスクがある場合は、リカバリを行いたい、いずれかのディスクを用意してください。
- 「Corel WinDVD」ディスク（光学ドライブ搭載機種）

POINT

- お手元に上記のディスクがない場合には、リカバリ領域を削除する前に、必ずディスクを作成してください。作成方法については「1.2 ディスク作成」（→P.7）をご覧ください。

2.3.4 リカバリ領域を削除する

重要

- リカバリ領域を削除すると、ハードディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。

1 お使いの機種により、次の操作を行います。

●ESPRIMO D シリーズの場合

1. 本パソコンの電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

●ESPRIMO K シリーズ、LIFEBOOK （A531 シリーズを除く）の場合

1. 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら【F12】キーを離します。
   起動メニューが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。手のひら静脈や指紋を登録した場合は、それぞれ認証を行ってください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

●LIFEBOOK A531シリーズの場合

1. 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示されたら【F12】キーを離します。

   Boot Menuが表示されます。

POINT

- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- Boot Menuが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

2 「トラブル解決ナビ＆ドライバーズディスク［リカバリ起動ディスク］」をセットします。

3 データの読み出しが終了し光学ドライブが停止してから、カーソルキーでディスクをセットした光学ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

4 「ユーティリティ」タブの「リカバリ領域の削除」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. ディスクの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリを実行する

の順に進めます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして、操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら手順7に進んでください。

7 ディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

外付け光学ドライブを接続している場合は、取り外します。

8 30秒以上待ってから電源を入れます。

9 セットアップを行います。
詳しくは、「1.4セットアップ」（→P.16）をご覧ください。

10 「スタート」ボタン→「コンピューター」の順にクリックし、Cドライブ、Dドライブの容量が増えていることを確認します。